

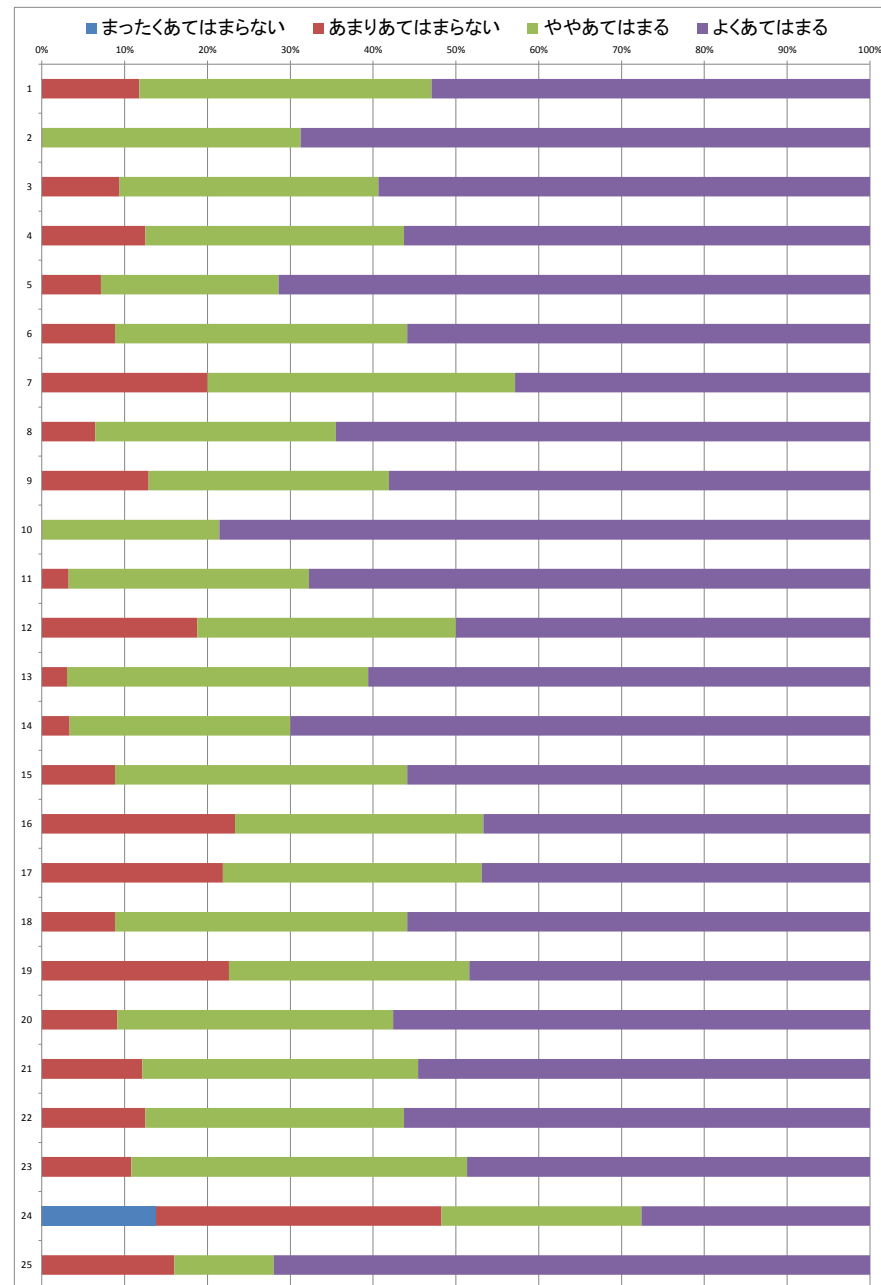
《教員用》 平成27年度学校教育自己診断票 結果①

1 まったくあてはまらない 2 あまりあてはまらない 3 ややあてはまる 4 よくあてはまる

※3・4の合計を肯定率として算出

回収：22名

No	診断内容	回答率				肯定率
		1	2	3	4	
1	教育課程や教育計画の作成について、教職員で日常的によく話し合っている。	0.0%	18.2%	54.5%	27.3%	81.8%
2	この学校の教育活動には、生徒や保護者のニーズにあった特色がある。	0.0%	0.0%	45.5%	54.5%	100.0%
3	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	0.0%	13.6%	45.5%	40.9%	86.4%
4	年間の学習指導計画について、各教科でよく話し合っている。	0.0%	18.2%	45.5%	36.4%	81.8%
5	各教科において、基礎・基本を明確にし、教材の精選・工夫を行っている。	0.0%	9.1%	27.3%	63.6%	90.9%
6	教員の間で、授業方法等について検討する機会を積極的に持っている。	0.0%	13.6%	54.5%	31.8%	86.4%
7	思考力を重視した問題解決的な学習指導を行っている。	0.0%	31.8%	59.1%	9.1%	68.2%
8	授業のはじめに授業の目標やねらいをわかりやすく説明している。	0.0%	9.1%	40.9%	50.0%	90.9%
9	授業評価などを行い授業改善に努めている。	0.0%	18.2%	40.9%	40.9%	81.8%
10	生徒のレベルに応じた分かりやすい授業をつくる努力をしている。	0.0%	0.0%	27.3%	72.7%	100.0%
11	カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	0.0%	4.5%	40.9%	54.5%	95.5%
12	生徒指導の方針について教職員間で十分コンセンサスがとれている。	0.0%	27.3%	45.5%	27.3%	72.7%
13	様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で心がけている。	0.0%	4.8%	57.1%	38.1%	95.2%
14	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる。	0.0%	4.5%	36.4%	59.1%	95.5%
15	生徒指導において、家庭との緊密な連携ができています。	0.0%	13.6%	54.5%	31.8%	86.4%
16	校則が、生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるかについて、生徒や教職員の間で話し合う機会がある。	0.0%	33.3%	42.9%	23.8%	66.7%
17	生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、各年次に応じた系統的な進路指導を行っている。	0.0%	31.8%	45.5%	22.7%	68.2%
18	生徒一人一人が興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい情報提供を行っている。	0.0%	13.6%	54.5%	31.8%	86.4%
19	ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に、学級や年次、学校全体で取り組んでいる。	0.0%	31.8%	40.9%	27.3%	68.2%
20	学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている。	0.0%	13.6%	50.0%	36.4%	86.4%
21	生徒会活動を通じて、生徒が民主的な手続きを経て、主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	0.0%	18.2%	50.0%	31.8%	81.8%
22	学校として、生徒が達成感を得られるよう、部活動の活性化について工夫している。	0.0%	18.2%	45.5%	36.4%	81.8%
23	教育活動において、生徒に社会規範や市民道徳を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している。	0.0%	18.2%	68.2%	13.6%	81.8%
24	教育活動において、奉仕等の体験学習やボランティア活動が活発に行われている。	18.2%	45.5%	31.8%	4.5%	36.4%
25	人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、全教職員で話し合っている。	0.0%	18.2%	13.6%	68.2%	81.8%



《教員用》

平成27年度学校教育自己診断票 結果②

1 まったくあてはまらない 2 あまりあてはまらない 3 ややあてはまる 4 よくあてはまる

※3・4の合計を肯定率として算出

No	診断内容	回答率				肯定率
		1	2	3	4	
26	人権尊重の教育において、参加体験型の学習内容・方法を取り入れるなど、感性を高める指導を行っている。	0.0%	9.1%	31.8%	59.1%	90.9%
27	人権問題を正しく理解し、差別や偏見のない社会をめざす主体的な生き方につながる学習となるよう工夫している。	0.0%	13.6%	27.3%	59.1%	86.4%
28	体罰やセクシャル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた生徒指導が行われている。	0.0%	9.1%	45.5%	45.5%	90.9%
29	校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている。	4.5%	9.1%	45.5%	40.9%	86.4%
30	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。	4.5%	9.1%	45.5%	40.9%	86.4%
31	学校運営に教職員の意見が反映されている。	4.5%	27.3%	50.0%	18.2%	68.2%
32	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	0.0%	31.8%	45.5%	22.7%	68.2%
33	各分掌や各学次間連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	4.5%	22.7%	45.5%	27.3%	72.7%
34	職員会議をはじめ各種会議が、情報交換と課題検討の場として有効に機能している。	4.5%	13.6%	59.1%	22.7%	81.8%
35	教職員間の相互理解が十分になされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	0.0%	18.2%	59.1%	22.7%	81.8%
36	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができています。	0.0%	9.1%	50.0%	40.9%	90.9%
37	この職場においては、教職員の服務規律への自覚が高い。	0.0%	13.6%	54.5%	31.8%	86.4%
38	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。	0.0%	27.3%	59.1%	13.6%	72.7%
39	この学校では、生徒の生活の場として、ゆとりと潤いのある教育環境が整備されている。	0.0%	27.3%	50.0%	22.7%	72.7%
40	コンピュータ等の情報機器が、各教科の授業などで活用されている。	0.0%	9.1%	59.1%	31.8%	90.9%
41	校内研修は、本校の教育課題のニーズに対応している。	0.0%	9.1%	40.9%	50.0%	90.9%
42	学校内で他の教員の授業を見学する機会がよくある。	0.0%	18.2%	50.0%	31.8%	81.8%
43	ケース会議などを通して生徒1人ひとりの課題について教員が向き合っている。	0.0%	4.5%	27.3%	68.2%	95.5%
44	研修の成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。	4.5%	18.2%	59.1%	18.2%	77.3%
45	学校から保護者あてに公文書を発行するに当たって、校長が決裁するシステムが生かされている。	0.0%	13.6%	27.3%	59.1%	86.4%
46	指導要領の記入および点検が年度内に適正に行われている。	4.8%	14.3%	38.1%	42.9%	81.0%
47	個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。	4.5%	4.5%	68.2%	22.7%	90.9%
48	教育活動に必要な情報を積極的に収集し、教職員や生徒・保護者への周知に努めている。	0.0%	9.1%	50.0%	40.9%	90.9%
49	地域の人々と接する機会を持っている。	9.1%	54.5%	31.8%	4.5%	36.4%
50	近隣の中学校などとの校種間連携の機会を設け、教育活動全般に生かしている。	13.6%	27.3%	22.7%	36.4%	59.1%

